

富富富 特報

令和3年4月16日

JAみな穂「富富富」ブランド化推進協議会

流通基準を遵守し、高品質で美味しい「富富富」ブランドを確立しよう。

～JAみな穂「富富富」ブランド化推進協議会の取組状況～

- ・県内では作付面積が1,400ha、
みな穂管内では212ha栽培されます。

R3年産みな穂管内取組状況		
入善町	166ha	39 経営体
朝日町	46ha	14 経営体
合計	212ha	53 経営体
前年差	+29ha	+1 経営体

- **流通基準** (以下の基準を満たすものを「富富富」のロゴパッケージで販売)
 - ◎検査等級：1等
 - ◎化学合成農薬成分の使用回数：12以内 (県慣行レベルの3割減)
- **品質目標**
 - ・玄米水分：14.5%～15.0%
 - ・玄米タンパク含有率：6.4%以下 (水分15%換算値)

令和3年「富富富」栽培のポイント

○適正な基肥量の施用

コシヒカリの2割以上減を基本とし、過剰にならないように留意しましょう。

○適期中干し開始

田植後4週間までに確実に開始しましょう。

1 品種名の表示

～他の品種との区分管理を徹底する～

- ・育苗作業及び田植時に混種が起りやすいので、品種ラベルの貼付や掲示等を工夫し、作業員全員が品種をまちがえないようにしましょう。
- ・ほ場には、富富富の立札を設置することになっています。

2 育苗

～健全な苗づくり～

- ・育苗管理は他品種と同じですが、特に4月下旬以降は気温が上昇し、苗が長くなるため、搬出直後から換気しましょう。

3 苗箱施薬剤の散布

～苗箱施薬剤は、除草剤と間違えないように散布～

- ・は種時覆土前～移植当日に、1箱当たり50gを均一に散布しましょう。

フェルテラ箱粒剤※	1成分 (クロラントラニリプロール)
------------------	--------------------

※害虫駆除のみで、葉いもちの薬剤は含みません。

本格作付け4年目！高品質で美味しい「富富富」ブランドの確立！

4 基肥

～適正な基肥量を施用する～

- ・基肥量が多いと品質・食味の低下を招くため、施肥量はコシヒカリの2割以上減を基本とし、過剰にならないように留意しましょう。
- ・特に、昨年度「富富富」の単収が540kgを超えたり、玄米タンパク含有率が6.4%を超えていた場合は、更に減肥しましょう。

施肥体系	肥料名	施用量の目安※
一発体系	富富富専用	28～32kg/10a (側条)
分施肥体系	基肥206号	24～28kg/10a (側条)

※大豆跡や堆肥を施用した場合は、有機質の地力発現を考慮しましょう。

5 田植え

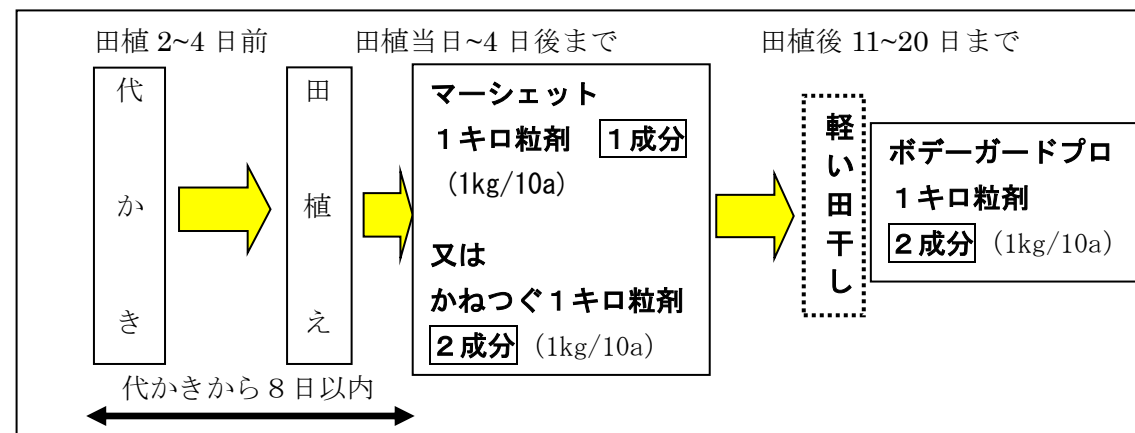
～適正な田植え作業の実施と初期の水管理の徹底～

- ・5月15日を中心 (5/2半旬～4半旬) とした田植えを行いましょう。
※但し、老化苗となるのであれば早めに移植してください。
- ・栽植株数は**70株/坪以上**としましょう。
- ・田植後の3日間ほどはやや深水とし、活着を促進しましょう。その後は浅水管理で水温を上昇させ、分げつの発生を促しましょう。

6 除草剤の散布

～使用方法を厳守し、適期に散布～

- ・前作が「富富富」以外の場合は、漏生苗の抜き取りの労力を軽減するため、マーシエット1キロ粒剤又は、かねつぐ1キロ粒剤を必ず散布しましょう。
- ・散布後7日間は落水やかけ流しは行わないようにしてください。



※初期剤を田植え同時処理する場合は、田植後、直ちに入水しましょう。

7 中干しの確実な実施

～遅れないように実施～

- ・水管理の効率を高めるため、溝掘りは田植後3～4週間を目安に行いましょう。
- ・中干しは田植後4週間までに確実に開始し、根づくりを行いましょう。
- ・中干し後は、落水期間が長めの間断かん水により稲体や根の健全化に努めましょう。

8 栽培・出荷における留意事項

～必須要件をクリアして消費者に販売～

- ・栽培期間に使用できる化学合成農薬の成分使用回数は12以内です。
※「富富富の農薬体系」以外の農薬を使用する場合は事前に営農指導員にご相談ください。